

「おおきなせなかに」夢をのせ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

広
報

だいせん日和

2010

Special Number

— 広報だいせん「平成 22 年度 予算特別号」—

今年も全力投球
「ズバッ」とど真ん中



<http://www.city.daisen.akita.jp/>

今年も予算ができあがりました。

昨年秋から編成作業を進めてきた「平成 22 年度当初予算」。

大仙市の予算編成方針に基づき、これまでの前例踏襲による事業の考え方を改め、すべての事務事業について、新たな視点でゼロからの積み上げ方式によって、予算を編成しました。

この予算は私たちの代表者で構成される市議会で説明され、審議され、承認を受けて成立したものです。

合併により誕生した大仙市の基礎固めに重点的に取り組んだ5年間。

誕生から6年目を迎える今年は、これまでつくりあげてきた本市の基盤をより強固にし、より発展させ、市民一人一人が「安心し安全に暮らせる地域」、子どもたちが「将来において誇れる郷土」を一緒につくりあげます。

「人が活き 人が集う 夢のある 田園交流都市」を目指し
みなさんのハートの“ど真ん中”に届くよう
今年も全力投球で事業を展開します。



CONTENTS_目次

だいせん日和 予算特別号 2010
今年も全力投球「ズバッ」とど真ん中



004 | **第1章「予算とは」**
まちづくりの設計図 -市民の目線で作成しました-



006 | **第2章「予算歳入」**
435億6,032万7千円の物語

008 | **第3章「予算歳出」**
「子育て」「教育」に重点配分

011 | **第4章「協働」**
地域が桜再生に動き出す「八乙女山を守る会」

014 | 自分たちの環境を守れ「南外地域河川清掃事業実行委員会」

015 | ふるさと再発見で活性化「花館コミュニティ会議」



016 | **第5章「主な事業」**
今年度のスターティングオーダー

018 | 第1節 健康福祉

020 | 第2節 教 育

022 | 第3節 産業・雇用

024 | 第4節 都市基盤

025 | 第5節 環境・安全

026 | 第6節 地域情報・交流

026 | 第7節 計画の推進



027 | **第6章「資料編」**
財政判断指標でみる市の財政

030 | 市町村財政比較分析表

COLUMN - コラム

007 | 1 市の借金と預貯金

009 | 2 命の砦を守れ

010 | 3 家計簿に見る予算

4 一人当たりの予算

今号の表紙／

中仙ファイターズの戸嶋大夢くん
(中仙小6年)

表紙裏／

中仙ファイターズのみなさん

第1章 予算とは

まちづくりの設計図

市民の目線で作成しました

市のあるべき姿を実現するための道しるべ

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。

なぜなら、予算には、私たちの1年間の暮らしが詰まっているからです。

家計に例えると「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれていて、これらを取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

一般会計予算

高齢者福祉や児童福祉、健康保健、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。市役所の基本的な仕事を会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

特別会計予算

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。国民健康保険事業や下水道事業など、主に保険税や使用料など、特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では25の特別会計を設置しています。

企業会計予算

独立採算といった民間企業に似たような仕事をする予算で

す。市では、市立大曲病院事業と上水道事業の2つの企業会計を設置しています。

予算は、市が1年間に使うお金の「単なる目安」ではありません。市役所の各部署や各課は、「こんなことをしてほしい」「こんなことで困っている」といった市民の要望や意見、アイデアをまとめ、検討しながら昨年度に「予算要求書」を作成しました。その要求書の事業は、大仙市にとっての優先順位や効果、お金の問題など多角的に検討協議（予算査定）がされて「予算案」と

いうものになります。そして、予算案は市民代表による議論の場である市議会で審議され承認され、初めて予算が決まります。

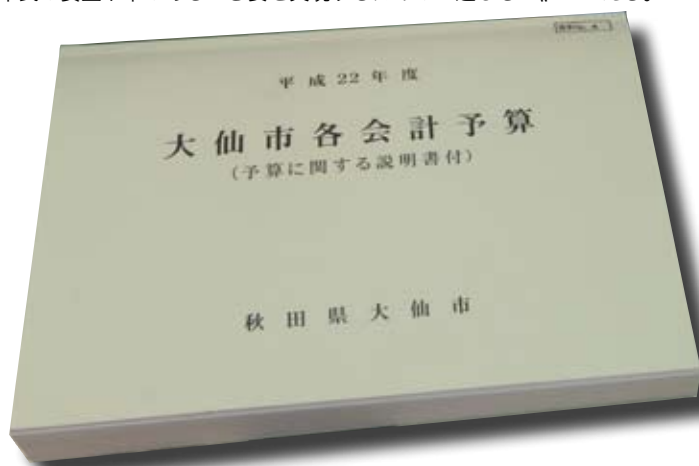
従って、予算には強い拘束力があります。市は、成立した予算に基づき計画通りに事業を行わなければならないません。つまり、予算が決まるということは、市が行う事業が決まるということです。市民の要望や市のあるべき姿を実現するための道しるべといえるのです。

市の未来予想を描いた設計図。今年1年の「まちづくりの設計図」の内容を紹介します。

大仙市誕生から6年目

基盤を強固に、より発展、誇れる郷土づくり

A4版で635ページにおよぶ予算書。厚さ30mm、重さ1.5kgの中に、1年間の事業が詰まっている。予算書は、市民の要望や市のあるべき姿を実現するための「道しるべ」といえる。





－ 予算特別号 －

会計別予算額

■ 一般会計	435 億 6,032 万 7 千円
■ 特別会計	212 億 5,328 万 2 千円
■ 企業会計	23 億 3,164 万 3 千円
計	671 億 4,525 万 2 千円

※ 30、31 ページの普通会計とは、全国共通ルールに基づき区分し直した統計上の会計区分です。
大仙市の普通会計は、一般会計と「土地取得」「土地区画整理事業」「学校給食事業」「奨学資金」の4つの特別会計を合わせた会計です。

	平成 22 年度	平成 21 年度	増減額
一 般 会 計	435 億 6,032 万 7 千円	421 億 1,546 万 8 千円	14 億 4,485 万 9 千円
特 別 会 計	212 億 5,328 万 2 千円	224 億 3,090 万 7 千円	△ 11 億 7,762 万 5 千円
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	104 億 295 万 8 千円	105 億 5,093 万 2 千円	△ 1 億 4,797 万 4 千円
国民健康保険事業特別会計（診療所勘定）	1 億 8,544 万 6 千円	1 億 9,330 万円	△ 785 万 4 千円
国民健康保険事業特別会計（歯科診療所勘定）	3,553 万 1 千円	5,910 万 4 千円	△ 2,357 万 3 千円
老人保健特別会計	14 万 2 千円	1,460 万 3 千円	△ 1,446 万 1 千円
後期高齢者医療特別会計	8 億 9,792 万 6 千円	8 億 9,440 万 6 千円	352 万円
土地取得特別会計	931 万 9 千円	1,678 万 7 千円	△ 746 万 8 千円
土地区画整理事業特別会計	16 億 3,000 万 8 千円	18 億 3,864 万円	△ 2 億 863 万 2 千円
学校給食事業特別会計	9 億 5,937 万 7 千円	9 億 4,052 万 2 千円	1,885 万 5 千円
奨学資金特別会計	3,873 万 2 千円	4,066 万 1 千円	△ 192 万 9 千円
宅地造成事業特別会計	3,276 万 7 千円	3,827 万 1 千円	△ 550 万 4 千円
簡易水道事業特別会計	15 億 6,845 万 5 千円	15 億 4,131 万 5 千円	2,714 万円
公共下水道事業特別会計	15 億 7,121 万 5 千円	16 億 2,263 万 6 千円	△ 5,142 万 1 千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	7 億 7,507 万 3 千円	8 億 8,236 万円	△ 1 億 728 万 7 千円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2,882 万 2 千円	4,019 万 3 千円	△ 1,137 万 1 千円
農業集落排水事業特別会計	17 億 6,907 万 9 千円	19 億 1,085 万 4 千円	△ 1 億 4,177 万 5 千円
介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計	3 億 491 万 3 千円	6 億 4,468 万円	△ 3 億 3,976 万 7 千円
介護老人保健施設介護サービス事業特別会計	8 億 3,107 万 8 千円	8 億 2,886 万 8 千円	221 万円
老人デイサービス事業特別会計	1 億 5,133 万 7 千円	1 億 4,737 万 3 千円	396 万 4 千円
スキー場事業特別会計	5,414 万 6 千円	2 億 1,596 万 9 千円	△ 1 億 6,182 万 3 千円
内小友財産区特別会計	60 万 4 千円	45 万 8 千円	14 万 6 千円
大川西根財産区特別会計	41 万 6 千円	43 万 5 千円	△ 1 万 9 千円
荒川財産区特別会計	158 万 2 千円	185 万 6 千円	△ 27 万 4 千円
峰吉川財産区特別会計	118 万 7 千円	266 万 8 千円	△ 148 万 1 千円
船岡財産区特別会計	146 万 9 千円	222 万 5 千円	△ 75 万 6 千円
淀川財産区特別会計	170 万円	179 万 1 千円	△ 9 万 1 千円
企 業 会 計	23 億 3,164 万 3 千円	19 億 8,396 万 1 千円	3 億 4,768 万 2 千円
市立大曲病院事業会計	10 億 4,789 万円	9 億 9,617 万 9 千円	5,171 万 1 千円
上水道事業会計	12 億 8,375 万 3 千円	9 億 8,778 万 2 千円	2 億 9,597 万 1 千円
予 算 合 計	671 億 4,525 万 2 千円	665 億 3,033 万 6 千円	6 億 1,491 万 6 千円

歳入合計

435億 6,032万 7千円

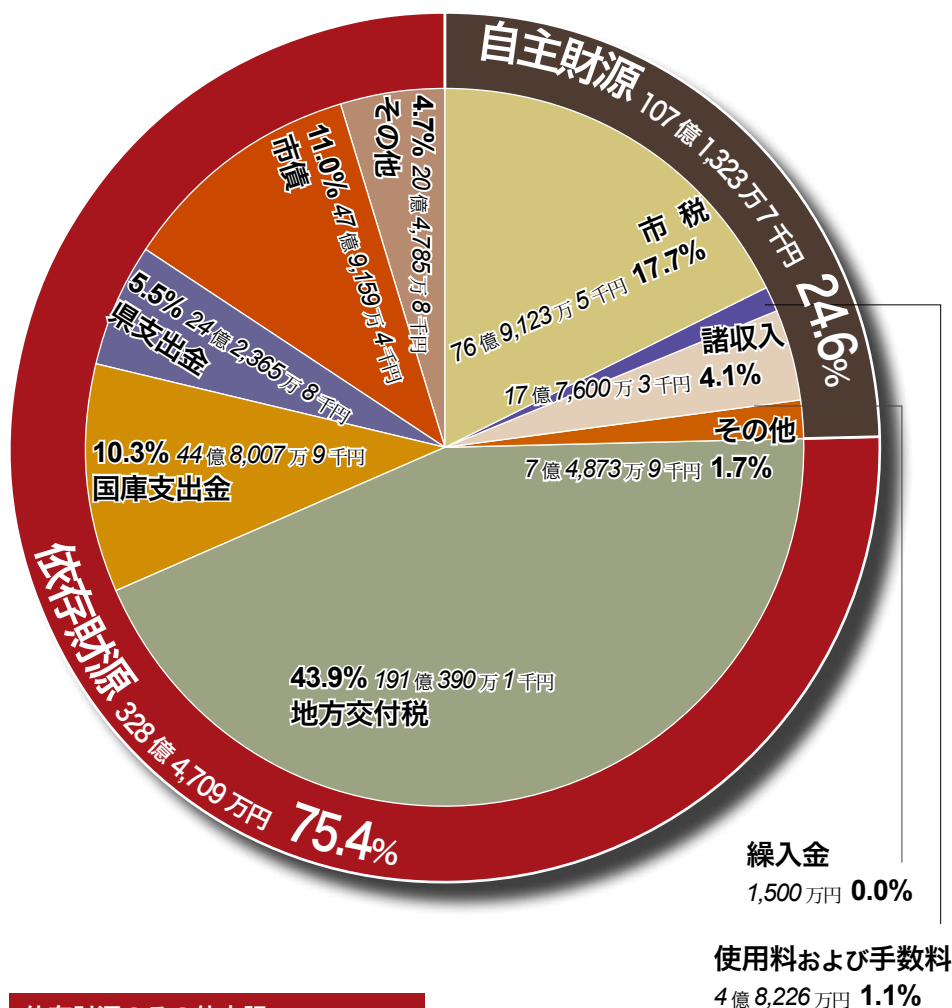
第2章

予算歳入

一般会計歳入

昨年度に引き続き「積極型予算」

しかし、財源の大部分は国・県に依存



依存財源のその他内訳

地方譲与税	8億5,658万3千円
利子割交付金	1,953万4千円
配当割交付金	390万9千円
株式等譲渡所得割交付金	122万1千円
地方消費税交付金	8億2,965万4千円
ゴルフ場利用税交付金	1,800万6千円
自動車所得税交付金	1億5,872万6千円
地方特例交付金	1億3,901万8千円
交通安全対策特別交付金	2,120万7千円

自主財源のその他内訳

分担金および負担金	3億3,956万8千円
財産収入	5,917万円
寄付金	1千円
繰越金	3億5,000万円

※グラフの割合は少数点第1位までの表示です。

財政用語

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

▼自主財源：市が自主的に収入することができ、財源のことで、市税、使用料および手数料、諸収入などがあります。

▼市税：住民のみなさんに納めていただく税金です。

▼依存財源：地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金や、市の借金である市債です。

▼繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

▼分担金・負担金：幼稚園や保育園の保育料、受益者負担金など利用者の負担分として支払われるお金です。

▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。地方交付税は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。



【コラム1】

市の借金と預貯金
市債発行額抑制
と基金残高確保

— COLUMN —

公共施設の建設費など多額のお金が必要なときに使用する「市債」。市の借金にあたりますが、返済の一部が地方交付税に算入される有利なものもあります。

また、税負担の公平性を保つために、市債で公共施設を作ることがあります。

たとえば、今、公共施設を作ると計画し、その施設が30年使用できるとします。「即金」で施設を建設すれば、今の市民が全額を負担しなければなりません。その後の市民は負担なしになり、不公平になります。

そこで市民が平等に負担できるよう、ある特定の世代だけに負担させないために、市債を発行する場合があります。

しかし、財政を圧迫する「借金」をいくらでもしていいわけではありません。将来負担の軽減や財政健全化のためには、市債発行額を抑制しなければなりません。

市債の発行は、市債の適正な管理を計画的に行うために策定した「公債費負担適正化計画」を基本にしています。平成28年度までの計画期間内における市債発行額を元金償還額の8割以内に抑制し、適正な財政運営に努めます。

また、市の預貯金にあたり、経済事情の変動や災害復旧など不測の事態により財源不足が生じた際に対応するために積み立てしている主要な基金である「財政調整基金」。合併当初に約30億円あった基金ですが、歳入への繰り入れで大幅に減少していました。しかし、昨年度と今年度で積み増しを行ったことから、年度末残高で14億1,400万円を確保できる見込みです。大仙市の規模にあった15億円程度を目標に、基金の残高確保に努めます。

40%以上が地方交付税

平成22年度の大仙市一般会計当初予算額は435億6032万7千円。前年度に比べ14億4485万9千円の増額(前年比3.4%増)、前年度に引き続き「積極型予算」を編成しました。

財源のうち、市民税や固定資産税、軽自動車税など、みなさんから納めていただいている市税は、76億9123万5千円。雇用環境の悪化による個人市民税や、経済不況による法人市民税の落ち込みにより、前年度と比較すると1億6131万8千円の減(前年比2.1%減)となっています。

一方、国から交付される地方交付税は財源の40%以上を占め、191億390万1千円で前年度より6億378万7千4千円の増額。地方税収入の大幅な減少による財源不足が見込まれる中、地域主権改革の第一歩として、地方が自由に使える財源を増やし、要望に適切にこたえられるよう、前年度を大きく上回る額が手当てされています。また、子ども手当の関係で、国庫支出金は44億8007万9千円。前年度より11億5903万6千円の増額になっています。

基金に頼らない財政

これまで、市の預貯金にあたる財政調整基金を財源確保のために取り崩してきました。結果、20年度末においては6億200万円と、合併以来最低の残高となりました。

行財政改革が急務

このようなことから、昨年度から財政調整基金の取り崩しを行わず、昨年度は当初予算で3億円の積み増しを行ったほか、補正予算で3億1200万円、そして今年度当初で2億円のさらなる積み増しを行います。

しかし、災害等の不測の事態があつた場合を考えると、まだ不足している状態です。大仙市の標準財政規模の約5%にあたる15億円の残高は、最低限確保しておかなければなりません。

今年度においても、基金に頼らない財政運営を行います。

保することができません。しかし、大仙市の自主財源は107億1323万7千円、率にして24.6%(前年比1.3%減)と低い割合を示し、予算額が増加しても大部分を地方交付税や国・県支出金、市債などの依存財源に頼っている状況です。

日本経済は、一昨年のアメリカの金融危機に端を発する世界的な経済危機から徐々に立ち直りつつあると言われています。

しかし、本市を含む地方都市では、まだまだ厳しい状況にあります。

市税収入の大きな伸びが期待できないことや依存財源が減少している中、自主財源を増やす取り組みや財源の見直し、事業の見直しなど、行財政改革が急務になっています。

▼国庫支出金…市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。

▼県支出金…市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。

▼市債…市の借入金(借金)で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源に充てられます。

▼地方譲与税…国税の一部が譲与されるお金です。市道延長・面積などによって譲与される地方揮発油譲与税と、自動車重量譲与税があります。

第3章 予算歳出

一般会計歳出

「子育て支援」「教育の充実」を重点施策に
各地域に配当する「地域枠予算」を増額

十分検討し予算編成

一般会計予算に加え、国の経済対策に伴う臨時交付金を財源とした事業も実施します。経費の節減を図りながら、市民ニーズや社会経済情勢を的確に捉えた施策を展開し、緊急課題の経済雇用対策にも対応します。

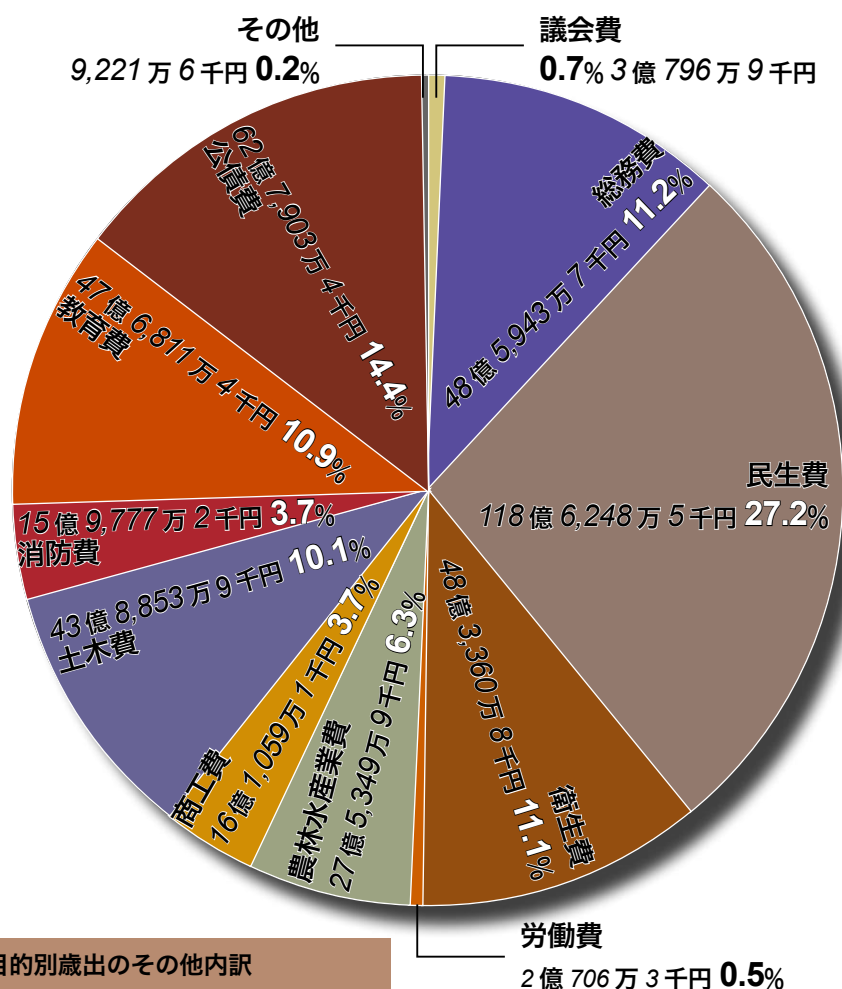
今回の予算編成にあたり、これまでの前例踏襲的な予算を根底から見直しました。単に事業費の圧縮、削減等を図るのではなく、事業の必要性や内容を十分検討し、すべての事務事業について新たな視点でゼロからの積み上げ方式によって予算を編成しています。

継続性を持った予算

国の政策も大きく変わってきています。しかし、市の判断で行うことのできる施策については、単年度で完結させるのでは

歳出予算を目的別に分類しました

【目的別】 歳出合計 435 億 6,032 万 7 千円



目的別歳出のその他内訳

災害復旧費	4,221 万 6 千円
予備費	5,000 万円

財政用語

【目的別歳出】

歳出予算を目的別に分類することで、行政サービスの水準や特色などを知ることができま

- ▼議会費：議会運営の経費
- ▼総務費：行政全般の事務などに関する経費
- ▼民生費：障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費
- ▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
- ▼農林水産業費：農林漁業振興のための支援や生産基盤整備などの経費
- ▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
- ▼土木費：道路や川、公園など社会資本整備のための経費
- ▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
- ▼公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
- ▼災害復旧費：災害で被災した施設などを復旧するための経費
- ▼予備費：予期しなかった支出に対応するための科目



－ 予算特別号 －

【コラム2】 命の砦を守れ 仙北組合総合病院 の新築移転

－ COLUMN －

大仙市をはじめ仙北市、美郷町の地域医療の中核をなす仙北組合総合病院。医療の高度化、専門化、患者ニーズが高まる現在、老朽化が進む同病院の早期改築は、地域の安全安心を守る上で最重要課題の一つです。

改築の早期実現に向けて、病院を運営するJA秋田厚生連や県に対し要望を重ねてきました。しかし、さまざまな課題から病院の改築計画が示されない状況が続いていました。

そこで市では、現病院と大曲駅の西側周辺を再開発する「市街地再開発事業」を計画。国の助成を受けられる制度を利用し、その事業の一環として新築移転を行います。

新築移転の場所は、旧ジョイフルシティ（JC）大曲周辺を検討。同区域は空き店舗や利用されていない用地が多くなり、市街地の衰退が懸念されていますが、鉄道やバスといった公共交通の利便性が高いことや周辺には駐車場などが多いこと、そして現在進められている区画整理事業などで、利便性がより高くなることが予想される場所です。

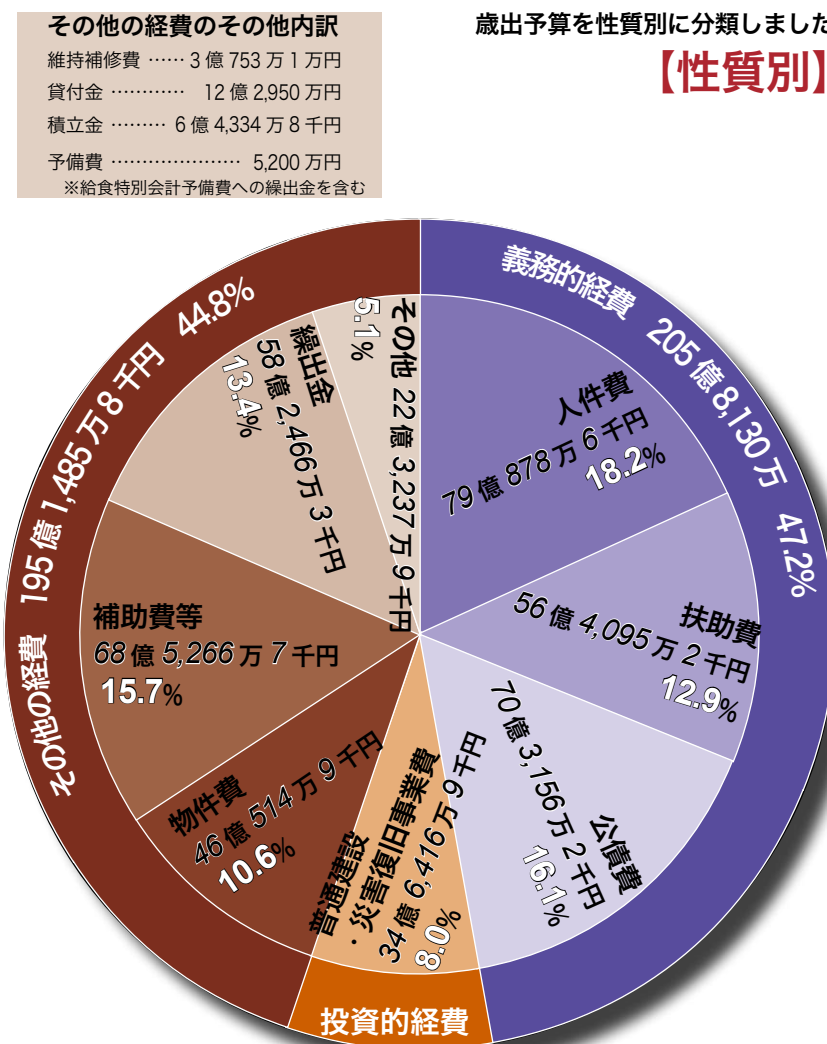
病院を核とした、医療・福祉・健康・交通などの機能を集約した整備を行い、高齢社会に対応できる機能的で利便性の高い中心市街地の実現を目指します。そして、地域の安全安心の確保に努めます。

なく、継続性を持つて進めていきます。特に、重点施策である子育て支援および教育の充実については、国に先駆けて実施していきます。その効果は、合計特殊出生率の上昇という形で顕著に現れています。子育て環境、教育環境に優しい大仙市として、子育て世代や次世代を担う子どもたちが希望を持って安心して暮らせるよう予算を編成しました。

また、地域が主体となつてさまざまな課題などに取り組めるよう配分している地域枠予算。大曲地域に1000万円、そのほか7地域に500万円ずつ配分していましたが、今年度は総額で500万円を増額。大曲以外の地域に、人口を基準として上乗せして配分することで、一歩進んだ地域主体の予算として位置づけています。

歳出予算を性質別に分類しました

【性質別】



投資的経費の内訳

普通建設事業費 … 34億2,195万3千円
災害普及事業費 … 4,221万6千円

【性質別歳出】

支出が義務づけられている義務的経費（人件費、補助費、公債費）、道路や公共施設の建設といった行政水準の向上にかかる投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費、その他の経費）に区分できます。

▼人件費…議員報酬、職員給与など

▼補助費…社会保障制度にかかる経費

▼公債費…市の借金などを償還するための経費

▼普通建設事業費…道路や公共施設の新増設に必要な経費

▼災害復旧事業費…災害で被災した施設などの復旧経費

▼物件費…賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費

▼補助費等…団体などに対して行政上の目的から支払う経費

▼繰出金…一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費

▼維持補修費…道路や公共施設などを管理するための経費

▼貸付金…市が直接あるいは間接的に現金の貸付を行う経費

▼積立金…計画的な財政運営や将来負担に備えて基金等に積み立てる経費



【コラム3】

市の予算を家計簿に たとえると 家計簿に見る予算

— COLUMN —

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。

そこで市の予算を年収 570 万円の家庭に当てはめてみました。

(年収 570 万は、総務省統計局で発表している「秋田県の1世帯当たり年間収入」である 566 万円を参考)

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。

例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿に当てはめました。

一つの目安としてご覧ください。

DATE: 平成 22 年度

収入

家族全員で稼いだお金 市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源	140 万円
両親からの仕送り 地方譲与税・地方交付金・国県支出金など	367 万円
銀行からの借り入れ 市債	63 万円

合 計 570 万円

支出

食費 人件費	103 万円
医療・教育費 扶助費	74 万円
ローン返済 公債費	92 万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など 物件費など	86 万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など 補助費等	90 万円
家の増改築・修繕など 普通建設事業費など	49 万円
子どもへの仕送り 繰出金	76 万円

合 計 570 万円

【コラム4】

予算を人口数で考える

一人当たりの予算

— COLUMN —

8 ページの目的別歳出を基に、平成 22 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳に記載される人口 9 万 1,308 人で「市民一人当たりの予算額」を算出しました。

高齢者や障がい者、児童等への福祉に使われる「民生費」に一番多く使われ、市の借金返済に使われる「公債費」、行政全般の事務に関する「総務費」と続きます。

衛 生 費



52,937 円

民 生 費



129,917 円

総 務 費



53,220 円

議 会 費



3,373 円

土 木 費



48,063 円

商 工 費



17,639 円

農林水産業費



30,156 円

労 働 費



2,268 円

そ の 他



1,010 円

公 債 費



68,768 円

教 育 費



52,220 円

消 防 費



17,499 円

第4章 協働

協働のまちづくり

市民と行政が一緒になりながら

地域特性を生かしたまちづくりが始まった





地元の山に危機感を覚え立ち上がった「八乙女山を守る会」のメンバー。ふるさとへの熱き思いを持ち活動を続ける。目標に向かう人々は力強く、真剣に活動に取り組む。作業後の満足感、それぞれの笑顔がさわやかだった。満開の桜の山を取り戻すだけでなく、山の恵み、ふるさとの恩恵を次代に伝え、地域を見つめ直すきっかけとなることを望んでいる。



住民と行政が一緒になったまちづくり—協働① 地域が桜再生に動き出す

桜の名所「八乙女公園」

しかし、近年、桜の開花が思わしくない

このままでは地域の誇り、心のよりどころが喪失してしまう
危機感を覚えた住民は立ち上がった

住民の思いは、地域そして行政を動かし

その波動は、全市的な広がりを見せ始めている

桜の名所に異変

大曲方面から国道105号を北上。中仙地域に入ると左手に標高110mほどの、こんもりとした八乙女山が見えてくる。前九年の役の古戦場でもあり、安倍氏が戦のために築城したともいわれる山城跡。戦国時代には「八乙女城」があったとも伝えられている。

山すそを雄大な玉川が流れ、約2000本の桜の山として知られ、地域のシンボル、市民が憩う公園として整備されている。

危機感を募らせた住民

桜の名所として観桜会には、たくさんの人たちが訪れる。しかし、桜の老木化やテングス病、ウソによる食害などで、近年十分な花を咲かせることができなくなっている。

そんな状況に危機感を募らせた地域住民が立ち上がった。

公園とその周囲の豊かな自然を守り、はぐくみ、未来に引き継ぐことを目的に、平成20年10月に「八乙女山を守る会」（熊谷典会長・会員13人）が誕生した。メンバーには角館の桜を19年間見守り続けてきた元仙北市職員で、樹木医でもある桜のプロも加わり、かつての姿を取り戻そうという意欲を燃やす。



Voice



八乙女山を守る会

佐藤 育男さん

「地域の憩いの場としての役割を復活させたい」との思いから、設立しました。

老木化や斜面の崩落などで、シンボルとしての

役割が薄れてきた状況ですが、私たちは地域のみなさんに愛される八乙女山の復活を目指し、樹木の手入れや施設の清掃等の環境整備をボランティア活動として続けていきたいと思っています。また、桜の保全活動だけでなく、地域の歴史を知り、山に興味を持ってくればと思います。

- 1 残雪の中、高枝切りはさみなどでテングス病を除去する会員。
- 2 八乙女山のすそを玉川が流れる。
- 3 除去した枝は、軽トラックに積み分け分場に。
- 4 八乙女山山頂の石碑には、地域に親しまれる桜の山を作るうと、大正11年に8,000本の桜が植えられたことを伝えている。

昨年は、会員による下刈りや育樹、テングス病の枝の切除といった保全活動だけでなく、地元小中学生を対象とした自然観察会、ボランティアを募つての桜の勉強会と手入れ、植樹などを行った。身近な桜を通して、ふるさとを見つめ直す輪が広がり始めている。

桜守プロジェクトへ発展

守る会の動きに、行政も触発された。市を代表する桜の名所の復活。そして、身近な桜への関心を高め、住民と行政がともに汗を流しながらの作業を模索。まずは自治会、町内会、造園業者等の協力で、桜の現況、管理状況

を調査した。現在、市のホームページで公開している「大仙市さくらマップ」は、その成果の一端である。また、調査の際に判明した緊急的に対応しなければならぬ桜が市内8カ所に。国の経済対策に伴う交付金を利用して、住民の協力の下、病気の枝の除去作業などを行った。

今年度も引き続き桜に関する情報の提供を市民に呼びかけ、さくらマップの充実を図り、桜についての認識や保全活動参加への機運を高めたいと考えている。また、住民だけで作業できるものから、市が管理する大規模な公園、学校等の教育施設など、その作業対象を区分しながら、桜の保全に向けた取り組みを進める。



再生を願ひ

桜管理の体制づくり、作業講習会、作業用重機等の借り上げ、業者への業務委託など、住民と行政が一緒になりながら、自主的に活動に参画できるしくみを全市へ拡大したいと考える。

八乙女公園の山頂広場には石碑が建っている。そこには、大正11年、旧長野町高瀬の高橋竹治翁によって8000本の桜が植えられ、桜の公園の実現に向けた思いが、碑文から読み取れる。地域に親しまれ、大切に先人が守つてきた財産。その思いは、私たちに脈々と受け継がれている。

雪まだ残る4月10日、守る会のメンバーは、公園周辺の桜並木のテングス病切除を行った。

開花前、最後の作業に汗する会員。全盛期の八乙女山は「山全体がサクラ色。国道から見上げる風景は、それは素晴らしかった。ふるさとの山、心のよりどころ」と口をそろえる。

満開の桜を願ひ、その瞳に映る風景は往事の八乙女の姿だけではない。次代を担う子どもたちが、ふるさとの自然の恵みを享受し、心豊かに生活する姿も浮かんでいるに違いない。

地域住民を巻き込み、行政を動かした取り組みは、ゆつくりとだが浸透し、動き始めている。

地域課題を環境に設定

南外のダム湖は「へらぶなの里」として、地元はもとより多くのヘラブナ釣りファンが訪れていた。しかし、心ない者の仕業か、外来魚が繁殖しはじめた。

「生態系を守れ」を合い言葉に、ブラックバス駆除釣り大会を行ったのが平成18年の秋。それから、かけがえのない環境に地域の眼が向けられ、地域のテーマ、課題を「環境保全・美化」に決め、地域で話し合われるようになった。

生活に密接な水環境

飲料水や農業用水など生活に不可欠な河川だが、不法投棄などで汚されている状況が見受けられ、「みんなで河川清掃を」という機運が高まる。住民一人一人が河川愛護、環境への意識を高め、ふるさと南外の清らかな川を取り戻そうと考えた。また、地域が主体となり、さまざまな課題などに取り組める地域枠予算の執行方針にも19年度から盛り込まれた。

すぐ南外地域河川清掃事業実行委員会を立ち上げ、事業を検討。清掃箇所は各自治会で決めること、期間内の自治会の都合の良い日に実施すること、作業機械の借り上げなど経費に関する

Voice

悪戸野自治会

高見健一さん

地域が共通の認識を持ち活動することは、とても大切だと思います。

「自分たちの環境は自分たちで守る」が基本で、大人が率先して取り組むことで、次代に伝えることができると思います。



活動を発展させて

ることなどが話し合わせ、地域協議会で事業が承認され、各自治会へ協力依頼がされた。地域が一枚岩になった瞬間だった。

昨年で3回目となる取り組みへの参加は42自治会中39。効果も見えはじめた。今年度は、活動の場所を河川に限らず、道路や自治会で使用する施設など、住民が年間を通して、自主的、自発的に活動できるものに発展できたらと考えている。

また、世帯の高齢化や減少などに対応し、各自治会が連携した活動を奨励し、新たな自治会のつながり、枠組みを模索したいと考えている。

住民と行政が一緒になったまちづくり—協働②

自分たちの環境を守れ

豊かな自然、環境に恵まれた南外地域
南外のダム湖「へらぶなの里」に外来魚が増えはじめた
「生態系を守れ」を合い言葉に駆除活動
かけがえのない水環境、地域の財産に、もう一度眼を向けた
地域のテーマ、課題を「環境保全・美化」に据えて
すべての自治会に呼びかけ、活動は開始した



- 1 河川敷地の雑木の刈り払いが重労働。草刈り機やチェーンソーを持ってやぶの中へ入る。背丈以上の雑木に囲まれることもある。
- 2 作業のために自治会が用意した草刈り機や軽トラックなどに対し、市が自治会へ借り上げ料を支払う。
- 3 古タイヤ、バッテリー、ストーブなど、びっくりするようなごみも多かったが、今では少なくなった。中には不法投棄によるものもあるが、増水によって上流から流されてきたごみが多い。
- 4 南外の清らかな水を取り戻す活動が始まっている。

※ 写真は滝集落内での活動の様子。

地域生活を支えた玉川

花館地区を流れる玉川は、地域に恵みをもたらした。歴史と文化をはぐくんできた。

100年以上前から遡上するサケを捕獲、採卵、受精、ふ化放流を綿々としてきた。同地区には市営水産ふ化場があり、毎年捕獲した約4000匹のサケから採卵し、約240万匹の稚魚を放流している。

春先の子どもの放流体験は、花館小学校だけの行事だったが、今では神岡や大曲の他地区小学校、幼稚園、保育園と広がり、風物詩として定着している。

地域文化の再発見

同地区のまちづくりグループ「花館コミュニティ会議」では、この先人から受け継いだ地域文化を後世に残し、地域活性化に結びつけようと活動している。

遡上が始まる11月には「サケまつり」を実施。捕獲施設「ウライ」と市営水産ふ化場の見学、そしてサケのつかみ取り、イクラ丼やサケ汁を試食し川の恵みを体験する。また、2月には、ふ化したサケの稚魚を地域の人たちで育て観察する。そして最後は、3月に花館小学校の6年生が放流し、巣立ちを祝い、大きくなってふるさとに帰ってくることを

誓う。この3部で構成されるストーリーは、花館地区ならではのイベントであり、住民に地域の豊かさや誇りを深く刻む。

地域ならではの魅力

多くの財産を所有する大仙市だが、私たちが住む地域ならではの魅力が存在するはずだ。

それは、あまりに普通すぎ、自然すぎ、特別なことのように感じないかもしれない。しかし、あらためて光を当て、磨き直せば、その土地ならではの、オンラインの魅力に変わり、地域活性化の突破口に変わるのではないだろうか。花館コミュニティ会議の取り組みは、そんなことを示唆してくれている。

花館コミュニティ会議 佐藤正雄さん

私たちにあって身近なことに光を当てることで地域活性化が図られるのではないのでしょうか。

子どもだけでなく、地域の伝統文化を学ぶよい機会だと思います。



住民と行政が一緒になったまちづくり—協働③ ふるさと再発見で活性化

花館地区を流れる「玉川」

恵みをもたらした。歴史と文化をはぐくんできた清流
国内最大級のサケの捕獲施設「ウライ」が設置されるなど
そこには脈々と受け継がれてきた伝統文化が存在する
私たちの身近なことに光を当てることで
地域の豊かさを再発見し、地域の活性化につながる



- 11月に行われた「花館のサケまつり」。地元で捕れたサケが食べられるため、たくさんの人でにぎわう。
- 子どもたちの手から放流されたサケの稚魚は3～4年後、ふるさとの川に戻ってくる。
- 霧氷で白の世界を演出する厳寒の玉川。
- 体長70センチ前後に成長し遡上してきたサケ。つかみ取り体験は子どもたちに大人気。
- ふ化作業を見学する参加者。自然の神秘を間近に体験できる。

3

いきいきと希望を持って活躍できるまちづくり
(産業分野)

地場産菜種学校給食活用モデル事業費	37万2千円
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費	3,935万円
秋田県水と緑の森づくり税関連事業費	705万5千円
中小企業融資預託金	10億3,000万円
中小企業振興融資あっせん制度保証料補給金	7,031万3千円
中小企業振興設備資金融資利子補給金	1,256万3千円
中小企業振興緊急経営安定資金融資利子補給金	5,997万4千円
大仙市雇用助成金	855万円
大仙市緊急雇用助成金	2,115万円
大仙市圏域雇用助成金	170万円
がんばる商店等支援事業費補助金	400万円
新規高卒者等就職支援事業費	270万円
緊急雇用創出臨時対策基金事業	4,295万1千円
ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費	7,819万2千円
観光推進事業費	410万円
企業誘致対策費	377万円
大曲の花火100周年記念事業費負担金	1,000万円

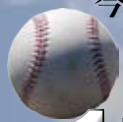
第5章

主な事業

主 な 事 業 説 明

7つの計画体系ごと

今年度のスターティングオーダー



－ 予算特別号 －

1

安心して健やかに暮らせるまちづくり (福祉分野)

予防接種事業費	7,296万1千円
子ども手当（児童手当含む）	12億4,300万4千円
地域児童健全育成推進事業費	9,038万3千円
ファミリー・サポート・センター事業費	233万4千円
母子保健推進費	5,604万1千円
地域中核病院高度化整備事業費	2億1,193万8千円
産科医等確保支援事業費	600万円
病児・病後児保育事業費	1,052万円
要支援児童保育対策事業費	3,967万円
障がい者施設整備事業費	4,305万5千円
介護サービス事業費	5,686万9千円

2

未来を創り心豊かな人を育むまちづくり (教育分野)

学校生活支援事業費	7,534万6千円
体験的学習時間支援事業費	1,770万7千円
外国語指導助手等招致事業費	3,776万6千円
こころのプロジェクト「夢の教室」事業費	70万円
芸術文化振興費、生涯学習推進費負担金	421万8千円
子ども読書活動推進事業費	366万1千円
池田氏庭園整備事業費	5,863万2千円
鈴木空如資料調査研究事業費	276万5千円
全県500歳・550歳野球大会関係費	288万2千円
大曲中学校屋内体育館建設事業費	8億601万5千円

さあ、グラウンドの整備も整いました
次のような主な事業をオーダーに
力を合わせてプレーします
22年度のプレーボールがコールされました

4

生活の基盤が整ったまちづくり (都市基盤分野)

道路維持管理費	2億6,740万円
道路改良事業費	1億8,300万円
大曲駅前第二地区土地区画整理事業費	7億8,650万9千円
住宅市街地総合整備事業費	1億3,550万円
まちづくり交付金事業費（大曲駅周辺地区）	3億5,087万円
大沢郷地区簡易水道事業費	3億5,328万1千円
戸地谷地区簡易水道事業費	2億2,534万9千円
公共下水道事業費	2億7,880万円
特定環境保全公共下水道事業費	1億3,666万9千円
農業集落排水事業費	6億万円
浄化槽設置整備事業費補助金	9,820万円

5

環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり (環境・安全分野)

桜守プロジェクト事業関連経費	787万5千円
道路側溝等環境改善事業費	760万円
地域住宅交付金事業費	7,866万4千円
秋田県総合防災訓練開催地経費	210万円
仙北ふれあい公園事業費	4,118万4千円
廃棄物減量化対策費	4,260万円
粗大ごみ処理対策費	810万9千円

6

仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり (地域情報・交流分野)

韓国国際交流員招致事業費	491万円
国際教養大学交流事業費	63万円

7

計画の推進にあたって

地域振興事業費（地域枠）	5,000万円
小規模集落コミュニティ対策事業費	3,480万2千円



安心して
健やかに暮らせる
まちづくり

一覧の見方

【事業名】

【担当課】

【予算額】

【財源の内訳】

※ 市 100%と表示している事業は市単独による事業

※ 「その他」とは使用料や受益者負担分などが含まれます

【事業内容】

以上の順に記載しています

- 1 保健・医療の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 社会福祉の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 社会保障の充実

母子保健推進費

担当課／健康増進センター

5,604 万 1 千円

(市 68%、国県 32%)

妊婦の疾病の早期発見および早期治療を促進し、妊婦の健康管理の向上を図るとともに、安心して妊娠・出産できる環境づくりに努めます。

【事業概要】

①妊婦健康診査等

妊婦の健康管理と経済的負担軽減のため、14回の健診の無料化を継続します。県外での妊婦健診に対しても全額助成します。

②妊婦歯科健診

妊婦歯科健診 1 回実施します。

③母子手帳交付

健康増進センター各分室で交付します。

④パパママ教室

仙北保健センターを会場に、次の 3 講座を年 4 回実施します。

【第 1 講座】妊婦体操

【第 2 講座】沐浴実習

【第 3 講座】パパの妊婦体験

⑤出産前後小児保健指導

小児科医と産婦人科医の連携による出産や育児の指導を実施します。

⑥乳幼児健康相談

⑦離乳食教室

5 か月児対象の前期離乳食指導と、9～10 か月児対象の後期離乳食指導を実施します。

地域児童健全育成推進事業費

担当課／児童家庭課

9,038 万 3 千円

(市 45%、国県 21%、その他 34%)

各地域に設置している放課後児童クラブの箇所を増やします。

保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」。子どもの健全育成や仕事と子育ての両立など、保護者が安心して働くことができる環境をつくりまします。

大曲小学校内の児童クラブを 3 か所に分け、大曲地域の内小友、角間川地区に新設します。

児童クラブは 4 箇所増えて、今年度 18 箇所で開催されます。

新規

ファミリー・サポート・センター事業費

担当課／児童家庭課

233 万 4 千円

(市 57%、国県 43%)

「育児の援助を受けたい者」（ファミリー会員）と「育児の援助を行いたい者」（サポート会員）が行う会員制の相互援助活動（ファミリー・サポート・センター）を支援します。

子育て家庭が仕事と育児を両立できる環境を整備します。

予防接種経費

担当課／健康増進センター

7,296 万 1 千円

(市 100%)

乳幼児および児童生徒、高齢者に対する予防接種を行います。

各地域で行っていたポリオの集団接種の会場を市内 3 か所に集約し、接種機会を増加します。

大曲保健センターで 12 回、西仙北保健センターで 6 回、仙北保健センターで 12 回集団接種を行います。

新規

子ども手当（児童手当含む）

担当課／児童家庭課

12 億 4,300 万 4 千円

(市 12%、国県 88%)

中学校修了前の子どもの保護者に対し、こども手当を支給します。

子どもの養育に係る経済的負担を軽減し、次代の社会を担う子どもたちの健全育成や資質の向上を図ります。対象者／中学校修了までの子ども
支給月／6 月・10 月・2 月

支給額／

1 人あたり月額 13,000 円（22 年度）

※この制度の実施で、いままでの児童手当制度以上に受給対象者が拡大し、受給額が増加するため、市独自で実施してきた「すこやか子育て手当金」は、5 月末の支給で終了します。

PICK UP

地域医療の充実

地域中核病院高度化整備事業費

担当課／重点政策推進室

2 億 1,193 万 8 千円

(市 29%、国県 71%)

地域医療の中核病院「仙北組合総合病院」は老朽化が著しく、市民の健康と安全を守る地域医療の確保と充実を図るためには、新たな病院建築が必要です。

市街地再開発事業の手法を活用し、病院の移転場所を確保し、新築移転するとともに、周辺用地の有効活用を図ります。





長寿社会実現のためには、介護予防が大切。
(南外地域での介護予防教室)



出産に先立ち、育児についていろいろ学ぶパパママ教室。



乳幼児の健やかな成長をサポートします。
(西仙北で行われた4カ月健診の様子)

介護サービス事業費

担当課／社会福祉課

5,686万9千円

(市86%、その他14%)

要介護高齢者や一人暮らし高齢者、その家族等に次のサービスを提供します。

①要介護者移送サービス事業

要介護4、5と認定された高齢者の退院時、ストレッチャー装着車両等で利用者宅へ送ります。

利用者負担／なし

②軽度生活援助事業

おおむね65歳以上の単身または高齢者のみ世帯で、日常生活上の援助を必要とする方に、軽易なサービス提供を受けられる助成券を年間36枚を上限として交付します。

利用者負担(利用券1枚につき)／
市民税課税世帯…350円

均等割のみ課税世帯…300円

非課税世帯…250円

生活保護世帯…無料

③介護予防デイサービス事業

おおむね60歳以上の要介護状態になるおそれのある者に対し、入浴・給食・体力向上トレーニング等のサービスを提供。

利用者負担／1回700円

④高齢者等相談支援事業

高齢者やその家族のさまざまな相談に応じます。各総合支所単位で月2回の相談窓口や、専門家による定期的な相談会等を開催します。

⑤緊急通報体制等整備事業

おおむね65歳以上の単身または高齢者のみの世帯等に、緊急通報装置を設置(貸与)します。

利用者負担／

市民税課税世帯…600円

均等割のみ課税世帯…400円

非課税世帯…200円

生活保護世帯…無料

⑥生きがい活動支援通所事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者に対し、健康相談や日常動作訓練等のサービスを提供します。

⑦家族介護者ヘルパー受講支援事業

家族を介護している、介護した経験がある方で、訪問介護員養成研修講座2級の課程を修了した場合、30,000円を上限に受講費用の一部を助成します。

⑧家族介護用品支給事業

要介護4、5と認定された高齢者を在宅で介護している市民税均等割のみ課税世帯に対し、介護用品購入券を年度内50,000円分を上限に交付します。

⑨家族介護慰労金支給事業

要介護4、5と認定された高齢者を在宅で介護している市民税非課税世帯に対し、月額5,000円を支給します。

要支援児童保育対策事業費

担当課／児童家庭課

3,967万円

(市73%、国県27%)

支援を要する園児のために支援員を配置します。さらに、支援を要する園児や支援員に対し適切な指導助言を行う保育アドバイザーを置きます。
※幼稚園にも同様の支援員を配置しています。

障がい者施設整備事業費

担当課／援護福祉課

4,305万5千円

(市100%)

市内の社会福祉法人が神岡地域に進める障がい者支援施設の建設について財政支援を行います。

新規

産科医等確保支援事業費補助金

担当課／健康増進センター

600万円

(市33%、国県67%)

産科医療機関および産科医確保を図るため、分娩を取り扱う医療機関へ財政支援を行います。

身近な地域で安心して出産できる環境の整備を図ります。

PICK UP

働く家庭の応援団 病児・病後児保育事業費

担当課／児童家庭課

1,052万円

(市42%、国県53%、その他5%)

子どもが病氣中あるいは病氣回復期のため、保育所や幼稚園での集団保育ができない場合や家族で看護できない場合、医療機関に付設された施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。

委託先／

吉村クリニック(定員:1日4人)

☎080-5577-0566

生和堂医院(定員:1日5人)

☎0187-87-3070

利用時間／

月～金曜日:午前8時～午後6時

土曜日:午前8時～午後1時

利用料金／1,000円

(生保世帯:無料・市外者:2,000円)



私たちがお手伝いします。
(吉村クリニックのスタッフ)



本物に触れることで、子どもたちは多くのことを学びます。(蒙風閣を迎える授業)

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の推進
- 3 芸術、文化の振興
- 4 スポーツ、レクリエーションの推進
- 5 世界平和の希求

あす
未来を造り
心豊かな人を
育むまちづくり

新規

子ども読書活動推進事業費

担当課／教育委員会総合図書館

366 万 1 千円

(市 100%)

子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成します。

子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身に付けられるような環境づくりを進めます。

①ブックスタート事業

4 カ月児健診時に、絵本や子育てに関する情報が入ったブックスタートパックを差し上げます。

絵本をつうじて赤ちゃんと保護者が楽しく一緒に体験し、家庭での読書のきっかけをつくります。

②保育園・幼稚園における読書活動

子どもたちが、絵本を自由に手にとることができるよう、各園の要望を取り入れて絵本の一層の充実を図ります。

読み聞かせボランティア等の派遣により、読み聞かせの機会を充実させます。

③小・中学校における読書活動

図書館職員(司書)が連携しながら、児童生徒にとって魅力ある学校図書館づくりや読書環境の整備充実にも努めます。

外国語指導助手等招致事業費

担当課／教育委員会学校教育課

3,776 万 6 千円

(市 99%、その他 1%)

外国語指導助手(ALT) 7 人、国際交流員(CIR) 1 人を配置し、児童生徒の国際感覚を養い、コミュニケーション能力の向上を図ります。

特に、中学校における英語の授業時数の増加(週 1 時間増)や小学校における外国語活動(小学 5、6 年生対象、週 1 時間)の実施に向けて、指導方法を研究し、新学習指導要領の全面実施への対応を図ります。

新規

こころのプロジェクト 「夢の教室」事業費

担当課／教育委員会学校教育課

70 万円

(市 100%)

プロスポーツ選手や芸術家などによる授業「夢の教室」を小学生を対象に開催します。プロ選手とじっくりと体を動かしたり、芸術家など著名人に触れたりすることで、夢を持つことの素晴らしさや努力することの大切さを知る機会をつくります。

芸術文化振興費、生涯学習推進費負担金

担当課／教育委員会生涯学習課

421 万 8 千円

(市 100%)

地域文化である民謡に触れる機会を提供し、芸術文化の振興を図ります。

【事業概要】

出前民謡「ふるさと民謡めぐり」、秋田おぼえ節全国大会、秋田おぼえ節全国大会、秋田飴売り節大会

学校生活支援事業費

担当課／教育委員会学校教育課

7,534 万 6 千円

(市 84%、国県 16%)

さまざまな課題を抱える幼児・児童生徒の学校生活をサポートするため市内幼稚園、小・中学校に 50 人の支援員を配置します。

個々の実情に合ったきめ細かな指導を行い教育環境の充実を図ります。

①学校生活支援員(小・中学校)・発達支援サポーター(幼稚園)

学校生活等において、支援が必要な児童生徒に対し、支援員を幼稚園、小・中学校にあわせて 46 人配置します。

②日本語指導支援員(小・中学校)

外国人児童生徒等、支援が必要な児童生徒に対し、日本語指導支援員 3 人を配置します。

③複式学級支援員(小学校)

複式学級における主要教科の授業に対応するため複式学級支援員を 1 人配置します。

体験的学習時間支援事業費

(小学校・中学校)

担当課／教育委員会学校教育課

1,770 万 7 千円

(市 100%)

小・中学校における各教科等(総合的な学習の時間含む)での体験的な学習を通して、児童生徒の一人一人の学習意欲を高め、問題解決能力の向上を図ります。

農業科学館、市役所、図書館、高齢者福祉施設、社会教育施設などへの訪問、自然体験活動、ボランティア活動など、各学校の創意工夫を生かした体験活動を充実させます。

PICK UP

4 カ月児健診時にお渡しします ブックスタートパック



4 カ月児健診時に、写真のようなブックスタートパックを差し上げます。子どもと読書の楽しさを再発見してください。



建設から40年以上経過する大曲中学校体育館の改築を行っています。



毎年参加チームが増えている全県500歳野球大会。昨年は171チームが出場しました。



春と秋の特別公開。秋の公開では、洋館の公開も予定しています。(秋の特別公開の様子)

PICK UP

地域全体で子育てにかかわろう 連携による人づくり

Priceless

(市民100%)

全国学力テストで3年連続全国トップ級の成績を収めた秋田県。その中でも大仙市の成績は県平均を上回っています。

この好成绩の要因に大きく次の3つがあげられます。

①温かい家庭環境のもと、しつけや基本的生活習慣がきちんと身に付いていること②保護者を含めた地域が学校教育に深く関わっていること③学校において創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開されていること。

以上のように次代を担う子どもたちをピラミッドの頂点に据え、家庭や地域、学校の三者が緊密に連携し、互いに協力しあって子どもの学びを支える体制ができあがっているからだと考えられます。

「まちづくりは人づくりから」

人は財産です。ましてや次代を担う子どもたちは地域の宝であり宝石です。

学びの場は決して学校だけではありません。地域にある有形無形の財産の中にも、多くの学びや気づきが秘められています。

地域がつながり、それぞれが輝き、地域全体が活性化できるような、まちづくりを進めましょう。



地域の宝をみんなで育てよう。

全県500歳・550歳野球大会関係費

担当課／教育委員会スポーツ振興課

288万2千円

(市100%)

大仙市を会場に毎年開催される全県500歳・550歳野球大会。「一生スポーツ 一生健康」のキャッチフレーズの下、野球を愛する多くの熟年世代が全県から集まります。

大会を通じて地域知名度の向上と観光宣伝、特産品ピーアールなど地域活性化を図ります。

①アオダモ移植

「木製バットを後世に」をスローガンに神岡野球場に植栽しているアオダモを間引きして、市内の各会場周辺に移植する募金運動を展開します。

②全県550歳野球大会

日程／7月31日(土)～8月2日(月)
会場／南外山村運動広場(主会場)ほか3会場

③全県500歳野球大会

日程／9月18日(土)～22日(水)
会場／神岡野球場(主会場)ほか17会場

大曲中学校屋内体育館建設事業費

担当課／教育委員会施設管理課

8億601万5千円

(市81%、国県17%、その他2%)

昭和40年建設の大曲中学校屋内体育館(柔剣道場含む)を改築します。

【屋内体育館の概要】

鉄骨鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り2階建て、延床面積4,190㎡
(バスケットボールコート2面、バレーボールコート1面、柔剣道場各1面、卓球練習場10面、器具庫、更衣室、部室ほか)

池田氏庭園整備事業費

担当課／教育委員会文化財保護課

5,863万2千円

(市50%、国県50%)

国指定名勝「池田氏庭園」の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行います。

学術上・鑑賞上優れたこの庭園を往時の姿によみがえらせ、地域発展に尽力し続ける池田家の功績の伝承と顕彰に努めます。

秋田県で最初の鉄筋コンクリート造り洋館の修復工事は今年度で終了し、秋の公開を予定しています。

PICK UP

大仙市が生んだ仏画師 鈴木空如資料調査研究事業費

担当課／教育委員会文化財保護課

276万5千円

(市100%)

法隆寺金堂壁画や貴重な仏画等の模写を行った、太田地域出身の仏画師「鈴木空如」。40年近い活動を調査し、空如の足跡を調査保存します。

世界文化遺産に登録されている法隆寺。空如は、その金堂内陣の壁画を原寸通り、そして色彩や

変色、にじみなども、忠実に描きました。

昭和24年の火災で焼失した金堂壁画の復元には、この模写などが貴重な資料として利用されました。



第11号壁画
普賢菩薩騎坐



活き活きと
希望を持って活躍
できるまちづくり



「秋田県水と緑の森づくり税」を財源に森林環境の整備を図ります。

- 1 農林水産業の振興
- 2 商業の振興
- 3 工業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用の安定、就労の促進

中小企業振興設備資金融資利子補給金

担当課／商業労政課

1,256 万 3 千円

(市 100%)

市内中小企業者の設備投資に係る資金の融資利子の一部を補給します。金利負担の軽減を図り、市内中小企業者の設備投資を促します。

中小企業振興緊急経営安定資金融資利子補給金

担当課／商業労政課

5,997 万 4 千円

(市 100%)

長期化する景気低迷に対処するため、緊急措置として、市内中小企業者の設備投資以外の運転資金に係る資金の融資利子の一部を補給します。金利負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営安定を図ります。

大仙市雇用助成金

担当課／商業労政課

855 万円

(市 100%)

市内事業所における新規雇用に対して助成金を交付し、雇用機会の拡大を図り若年層の地域定住を促進します。

大仙市緊急雇用助成金

担当課／商業労政課

2,115 万円

(市 100%)

緊急に雇用機会の拡大を図るため、市内の事業所における新規雇用に対して助成金を交付します。

秋田県水と緑の森づくり税関連事業費

担当課／農林振興課

705 万 5 千円

(国県 100%)

「秋田県水と緑の森づくり税」を財源に森林環境の整備を図ります。

【事業の概要】

- ①針広混交林化推進事業
県実施の針広混交林化整備事業(大川西根財産区管内)を推進します。
- ②ふれあいの森整備支援事業
姫神公園、南外ふるさと森林公園、太田大堤公園を整備します。
- ③森林環境学習活動支援事業
余り目学校林、旧峰吉川小学校学校林の整備、土川小学校で森林環境学習活動を行います。

中小企業融資預託金

担当課／商業労政課

10 億 3,000 万円

(市 100%)

大仙市中小企業振興融資あっせん制度の取り扱い金融機関に対し預託し、市内中小企業への融資促進を図り、経営安定を図ります。

中小企業振興融資あっせん制度保証料補給金

担当課／商業労政課

7,031 万 3 千円

(市 100%)

大仙市中小企業振興融資あっせん制度による融資促進を図り、その保証料の全額を市が補給します。市内中小企業者の経営安定を図ります。

新規

地産地消で食育 地場産菜種学校給食 活用モデル事業費

担当課／協和総合支所農林振興課

37 万 2 千円

(市 100%)

市内で栽培・収穫された菜種を協和小種地区の農事組合法人「エコ・ファーム」の搾油施設で搾り、モデル事業として神岡、西仙北、協和の各給食センターで学校給食に利用します。

安全・安心で健康にも良い地元産の菜種油を学校給食に利用し、食育や農産物の地産・地消に努めます。

昔ながらの圧搾法で製造される採種油。「焙煎」「搾油」「ろ過」「高温殺菌」「瓶詰め」と、それぞれにないに行われています。

地産地消や食育推進、資源循環のモデル事業はもちろんのこと、雇用の創出、耕作放棄地の解消にもつながります。



市販されている協和小種産の「まほろば菜油」。昔ながらの圧搾法で、ていねいに製造されます。安全・安心な採種油で地産地消に努めます。

新規

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費

担当課／農林振興課

3,935 万円

(国県 100%)

国の交付金を受け、西仙北強首地区に処理能力 3,000 ㍔の乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)を建設します。事業は 23 年度まで。



大仙市の魅力をつなぎ、積極的にピーアールします。(昨年11月に行った観光モニターツアー)



地域の雇用促進、雇用機会の創出を図ります。(仙北地域雇用促進就職面接会の様子)



主要産業である農業。新たな農業施策に対応した事業を進めます。

新規

新たな花火の情報発信

大曲の花火 100 周年記念事業費負担金

担当課／観光物産課

1,000 万円

(その他 100%)

明治43年に「第1回奥羽6県煙火共進会」として始まった「大曲の花火」が、今年で100周年を迎えます。

これを記念し「大曲の花火」発展のため尽力された団体・企業を表彰するとともに、全国花火競技大会のさらなる振興を図ります。

また、「花火のまち」を標榜する大仙市。新たな花火の魅力を市内外に情報発信することで、交流人口の増加、地域経済の活性化を図ります。

花火フォーラムの開催や大会において「100周年記念特別花火」を打ち上げます。また、市内各地で開催される花火イベントに協賛することで、「大曲の花火100年記念イヤー」を盛り上げていきます。

【企画内容】

花火フォーラム

期日／8月21日(土)

会場／大曲市民会館

全国花火競技大会において

昼花火のスターインショー

「記念特別花火」の打ち上げ

その他毎月

各地域での花火大会において、企画花火を打ち上げ



万人を魅了する「大曲の花火」。

新規

緊急雇用創出臨時対策基金事業費

担当課／商業労政課

4,295 万 1 千円

(国県 100%)

県の補助金を活用し、市が臨時職員を直接雇用または民間事業所等へ委託することで雇用機会を創出します。

新規

ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費

担当課／商業労政課

7,819 万 2 千円

(国県 100%)

県の補助金を活用し、市が事業を民間団体等に委託し、継続的な雇用(昨年度からの継続雇用)を創出します。

企業誘致対策費

担当課／企業対策室

377 万円

(市 100%)

工業の振興と雇用機会の拡大を目的に、企業誘致の促進に努め、既存企業の規模拡大に対する支援を行います。

観光推進事業費

担当課／観光物産課、西仙北、中仙、協和支所
地域振興課

410 万円

(市 89%、その他 11%)

地域の観光資源のネットワーク化を図りながら、大仙市を内外にピーアール。誘客を進めることで観光振興を図ります。

今後の観光動向を見据えながらターゲットを絞った効果的で効率的な情報発信を目指します。

新規

大仙市圏域雇用助成金

担当課／商業労政課

170 万円

(市 100%)

市民を新規雇用した仙北市・美郷町の事業所に助成金を交付することにより、圏域内における市民の雇用機会の拡大を図ります。

新規

がんばる商店等支援事業費補助金

担当課／商業労政課

400 万円

(市 100%)

消費者の利便性や購買意欲を向上させる事業を行う商店等のグループに対し補助金を交付します。

各商店の魅力向上と市内の購買力の底上げと消費拡大を図ります。

新規

新規高卒者等就職支援事業費

担当課／商業労政課

270 万円

(市 100%)

未就職の新規高卒者等を対象に、3カ月の期間において10回の講座を開設し、就職活動に役立てるための育成支援を行います。

受講者に対して3,000円の日当を支給し、経済的負担軽減を図ります。

【就労支援講座内容】

一般教養／

就労に必要な基礎知識やビジネスマナー

パソコン実務／

パソコンを活用した事務処理

企業講話／

企業が求める人材への理解

地域文化／

地域社会の成り立ちなどを学ぶ



区画整理事業等で整備が進む大曲駅周辺。
(大花町都市再生住宅の屋上から)

- 1 道路の整備
- 2 公共交通の整備
- 3 市街地の整備
- 4 上水道の整備
- 5 下水道等の整備



生活の
基盤が整った
まちづくり

公共下水道事業費

担当課／下水道課

2億7,880万円

(市60%、国県35%、その他5%)

下水道整備を進めます。

【事業地域】

大曲、神岡地域

特定環境保全公共下水道事業費

担当課／下水道課

1億3,666万9千円

(市60%、国県35%、その他5%)

市街化区域以外で下水道整備を進めます。

【事業地域】

中仙、南外地域

農業集落排水事業費

担当課／下水道課

6億5,878万2千円

(市53%、国県46%、その他1%)

農業用用水の水質保全と農村地域の生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図ります。

【事業地域】

大曲、太田地域

浄化槽設置整備事業費補助金

担当課／下水道課

9,820万円

(市43%、国県57%)

合併処理浄化槽整備のための補助金を交付します。

公共下水道事業、農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上や良好な生活環境の確保を図り、公共水域の水質保全を図ります。

住宅市街地総合整備事業費

担当課／水道課

1億3,550万円

(市50%、国県50%)

大曲駅周辺での土地区画整理事業地区において、下水道、防火水槽、児童遊園等を整備します。

まちづくり交付金事業費 (大曲駅周辺地区)

担当課／都市計画課

3億5,087万円

(市63%、国県37%)

大曲駅周辺の整備により、中心市街地のにぎわいの再生し、同地区の定住人口の増加、交通結節機能の強化により利便性向上を図ります。

【事業概要】

道路改良工事、道路舗装工事、公園整備工事、地域交流センター新築工事 ほか

大沢郷地区簡易水道事業費

担当課／水道課

3億5,328万1千円

(市63%、国県36%、その他1%)

西仙北地域大沢郷地区に簡易水道施設を整備し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。

戸地谷地区簡易水道事業費

担当課／水道課

2億2,534万9千円

(市69%、国県30%、その他1%)

仙北地域戸地谷地区に簡易水道施設を整備し、地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。

道路維持管理費

担当課／道路河川課

2億6,740万円

(市100%)

市道路線数6,541路線、市道延長3,193kmについて適切な維持管理を行います。

道路パトロールを強化し、市民の要望に対し迅速に対応して道路の舗装、側溝等の修繕を行います。

また、「既存道路の機能の充実」を図ることを目的に、さらにきめ細かな道路の維持管理に努めます。

道路改良事業費

担当課／道路河川課

1億8,300万円

(市100%)

市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラである道路の改良、舗装、側溝工事等を行います。

大曲駅前第二地区 土地区画整理事業費

担当課／土地区画整理事務所

7億8,650万9千円

(市52%、国県48%)

大曲駅周辺地区の土地区画整理事業により、道路、水路、公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全を確保します。

にぎわいのある商店街の形成や宅地利用の増進など中心市街地の再生を図ります。

【事業概要】

建物移転補償費、道路新設工事、測量業務委託 ほか

5

環境と調和し
快適で安全に
暮らせるまちづくり

- 1 自然環境の保全
- 2 住宅環境の整備
- 3 公園・緑地の整備
- 4 衛生環境の整備
- 5 公害防止対策の推進
- 6 生活安全、安心確保
- 7 雪対策の強化



昨年12月にオープンした「ふれあい体育館」。たくさんの方々に利用されています。

仙北ふれあい公園事業費

担当課／仙北総合支所建設課

4,118万4千円

(市51%、国県49%)

スポーツ施設と既存文化施設を併せ持つ公園として整備を進めます。

市民の憩いの場となるような公園機能を果たし、災害時には施設と緑地を利用した一時避難地としての機能も強化した公園を整備します。今年度が最終年度となります。

【事業概要】

第2駐車場と体育館周辺の整備

廃棄物減量化対策費

担当課／環境課

4,260万円

(その他100%)

次世代に豊かな環境を残していくため、市民・事業者・行政が協働しこれまでのライフスタイルの転換を図ります。

循環型社会の構築に向けごみの減量化、再資源化を推進します。

新規事業として、家庭系廃食用油の回収を全市で行います。

粗大ごみ処理対策費

担当課／環境課

810万9千円

(市80%、その他20%)

粗大ごみの収集体制を統一します。「ごみの減量化・再資源化」「排出者責任の明確化」「負担の公平性の確保」の観点や高齢者へ配慮した戸別収集体制とします。

経済的動機付けによる意識改革を図り、さらなるごみの減量化を図ります。

新規

道路側溝等環境改善事業費

担当課／道路河川課

760万円

(市100%)

市が所有する高压洗浄車とバキューム吸引車を使用し、地域住民では手の届かない大型の集水桝や暗きよなどの汚泥等を除去します。

PICK UP

若者の定住促進と住宅の安定供給 地域住宅交付金事業費

担当課／西仙北総合支所建設課

7,866万4千円

(市56%、国県44%)

西仙北地域北ノ沢地区に市営住宅を建設しています。

18年度からの5カ年事業で、最終の今年度は平屋1棟と2階建て1棟の2棟4戸を建設。



5カ年で木造、平屋建て2棟4戸と2階建て4棟8戸を建設。

新規

秋田県総合防災訓練開催地経費

担当課／総合防災室

210万円

(市52%、国県48%)

第48回秋田県総合防災訓練が本市を会場に開催されます。

大仙市に直下型の大地震が発生したとの想定で、地域住民と防災関係各機関とが連携協力し、災害応急対策等の防災活動が迅速・的確に実施できるよう訓練。市民の防災意識の向上を図ります。

新規

桜守プロジェクト事業関連経費

担当課／総合政策課

787万5千円

(市100%)

市民・事業所・行政の協働で、市を代表する公園の桜の病気駆除や樹木更新等による再生を進めます。

地域の身近な桜への関心を高め、市民のプロジェクトへの参画を促進し、市全体の桜の保全と活用を図ります。

【事業概要】

①八乙女公園周辺の桜再生事業

市を代表する公園の再生に向けて、市民・事業所・市役所が協働で事業を行います。

②市民協働による桜環境保全の実施

地域の身近な桜を保全するための協働作業を行います。

③講習会の実施

桜の保全と活用を目的とした市民対象の講習会を行います。

④大仙市さくらマップ

ゼロ予算事業として、桜に関する情報収集とマップの内容充実、観光面での活用を図ります。

PICK UP

みんなでつくる

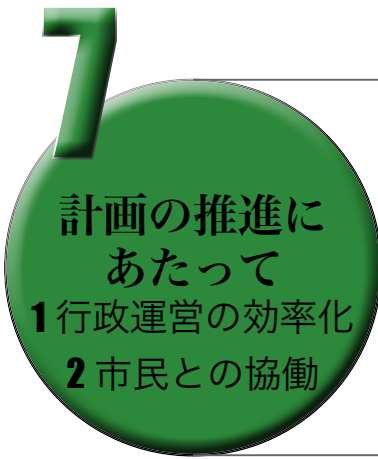
「大仙市さくらマップ」

昨年夏から、みなさんの協力をいただき市内の桜の調査を行っています。観桜スポットなどをインターネット上で紹介しています。今後ともみなさんに呼び

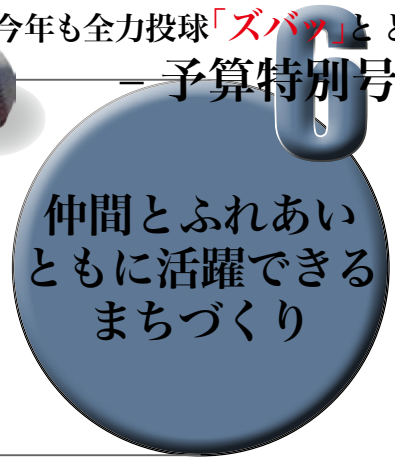


市ホームページの観光情報のページで公開しています。

かけ、情報の充実に努めます。



- 1 地域情報化の推進
- 2 男女共同参画社会の形成
- 3 地域間交流の促進
- 4 国際交流の促進



PICK UP

知恵と工夫で新事業 ゼロ予算事業

0円

(市100%)

ゼロ予算事業とは、通常の事業予算を用いずに既存の設備や人材を積極的に活用する事業。知恵と工夫で市民に新しいサービスを提供する試みです。

「ひと」「もの」「予算」の組み合わせの見直し、新しい組み合わせの発見、市民との協働がキーワードになります。今の時代にあったサービスの提供、取り組みといえます。

大仙市のゼロ予算事業は平成18年度から取り組んでいます。昨年度は53事業、今年度は「生物環境学習」「文化財めぐり」「介護予防講習」など10の新事業を準備。環境を考える、救命講習、子どもたちの体験学習、市職員の出前講座、展示室の提供託児サービスなど内容充実のメニューを準備しています。

「市民との協働によるまちづくり」を目指す本市にとって、ボランティア団体との連携や地域の人材活用は命綱。

今後も、こうした取り組みを広く行政全般に取り入れ、みなさんとともに築き上げる公共サービスを目指します。



地域の方々がボランティアで、長期休暇中の小学生の学習を支援。(神岡地域での様子)

小規模集落コミュニティ対策事業費

担当課／総合政策課

3,480万2千円

(市100%)

小規模集落等の現状と課題を把握し、コミュニティ機能の再生・活性化に努めます。

今年度は、小規模集落コミュニティ対策会議から提出された「小規模集落等のコミュニティ対策について」の提言に基づき、集落支援員を3地域に試験的に設置します。

集落点検や話し合いによって、コミュニティ機能の再生・活性化につながる支援策を検討、実施し、集落の維持・活性化を目指します。

PICK UP

異文化の中から大仙を知る 「国際教養大学生との交流」

昨年2月に市と国際教養大学が結んだ「国際交流に関する連携プログラム協定」。

市の児童生徒、未就学児と国際教養大学の留学生が国際交流を深めています。

昨年度は、国際教養大学から65回、延べ278人の留学生が大仙市を訪れました。また、9つの保育園、小中学校、延べ259人の子どもたちが大学を訪れ、双方が異文化体験をしました。



国際交流を深める子どもたち。

韓国国際交流員招致事業費

担当課／男女共同参画・交流推進課

491万円

(市100%)

韓国人の国際交流員を配置し、異文化理解事業の企画・運営、韓国との連絡調整(通訳・翻訳)等を行い、友好関係を更に深めます。

平成19年6月に韓国青少年北ソウル連盟との間に結んだ「交流に関する覚書」、同年8月に友好交流都市の韓国唐津郡との間に結んだ「交流に関する協定」等により、韓国との交流が拡大しています。

国際教養大学交流事業費

担当課／男女共同参画・交流推進課

63万円

(市100%)

小学生、中学生、幼稚園・保育園児と国際教養大学の留学生とが交流し、双方が異文化体験を重ね国際理解を深めます。

市と国際教養大学は、平成21年2月に「国際交流に関する連携プログラム協定」を締結しています。

地域振興事業費(地域枠)

担当課／総合政策課

5,000万円

(市100%)

市民と行政との協働によるまちづくりを推進し、地域の活性化を図ります。

各地域協議会での協議により、地域が抱えている課題に対し、住民が自主的かつ主体的に活動できるよう応援します。

第6章

資料編

資料編

財政判断指標で見る大仙市の財政
市町村財政分析比較表



地 方公共団体の財政破綻を未然に防ぎ、財政の早期健全化、再生を促すため、平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）が制定されました。

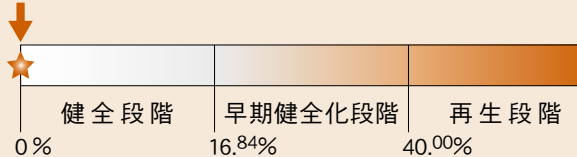
この法律により各地方公共団体は、毎年下の1～4の健全化判断比率と5の資金不足比率を算定し、これを監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告。そして市民に公表することが義務づけられています。

健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準を超えた場合は財政健全化計画を、資金不足比率が経営健全化基準を超えた場合は、経営健全化計画を定めて健全化に努めなければなりません。

平成20年度決算に基づく大仙市の比率は、いずれも健全化基準を下回り、すべて健全段階と判断されます。しかし、当市の財政状況は厳しく、今後も行財政改革を進めていきます。

健全化チェック 02 連結実質赤字比率(赤字なし)
すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をチェック

大仙市

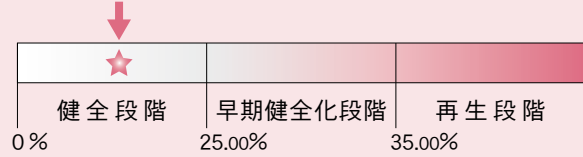


一般会計等に公営事業会計を含めた市のすべての会計を対象とした指標で、全会計における赤字・黒字の要素を合算して財政状況判断します。各会計決算の実質収支額および資金不足・剰余額の合計が赤字になる場合、比率が算定されます。

大仙市では、全会計の合計が22億1,675万3千円の黒字となり、比率は算定されません。

健全化チェック 03 実質公債費比率 (18.9%)
借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をチェック

大仙市

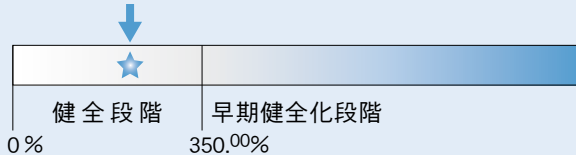


借金の返済負担の重さを示す指標で、全会計および一部事務組合が対象範囲となります。借金の返済にかかるお金は、ひとたび増大してしまうと短期間で削減したり先送りすることが困難なため、一定以上の規模にならないようにすることが大切です。

大仙市の比率は前年度の17.9%から18.9%に上昇。今後も比率上昇が予想されることから、一層の市債発行額抑制を図らなければなりません。

健全化チェック 04 将来負担比率 (210.3%)
市の抱える負債の残高から財政への圧迫度をチェック

大仙市

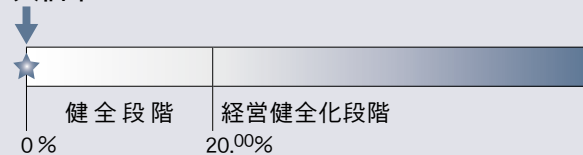


すべての会計と一部事務組合、第三セクター等を含めて、将来負担しなければならない額を示した比率です。地方公共団体の負債(借金の残高)の状況や将来の収支の見通しを明らかにするため、導入された指標です。

大仙市の比率は、前年度の217.4%から210.3%とやや改善。しかし、県内市町村や全国類似団体と比較すると高い値です。

健全化チェック 05 資金不足比率(資金不足額なし)
企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をチェック

大仙市



公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各会計ごとに算定し、比率が高ければ経営状況に問題があります。公営企業のサービスは上下水道や病院など、日常生活に欠くことができないため、早期の経営健全に向けて別途に比率が算定されます。

大仙市では9つの公営企業に関わる会計すべてにおいて、資金不足額はありません。

財政判断指標でみる 平成 20 年度決算

健全化判断比率で示された 4 指標と公営企業会計の資金不足額の比率。指標の数値によって、自主努力による改善を求める早期健全団体と、国が関与する財政再建団体の 2 段階の仕組みになっています。

◆大仙市における指標の対象範囲◆

一般会計等	一般会計		01 実質赤字比率	02 連結実質赤字比率	03 実質公債費比率	04 将来負担比率			
	一般会計等に属する特別会計	土地取得特別会計							
		土地地区画整理事業特別会計							
		学校給食事業特別会計							
		奨学資金特別会計							
公営事業会計	国民健康保険事業、老人保健、後期高齢者医療、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、老人デイサービス事業の6特別会計		05 資金不足比率						
	公営企業に係る会計	法適用					市立大曲病院事業会計、上水道事業会計		
		法非適用					簡易水道、公共下水道、特定環境保地下水、特定地域農業集落排水、スキー場、地造成の7特別会計		
一般事務組合等									
地方公社・第三セクター等									

健全化チェック

01

実質赤字比率 (赤字なし)

一般会計等の赤字から
財政運営の深刻度をチェック

大仙市



一般会計等を対象とした指標です。一般会計等の収支（歳入－歳出）から、翌年度に繰り越す財源を差し引いた決算額が赤字になる場合、標準財政規模^{※1}に対する赤字額の割合を示したものです。

大仙市の20年度決算では8億2,621万5千円の黒字となり、比率は算定されません。

※1…自治体の裁量で自由に使える一般財源ベースでの財政規模を示す指標

今後の取り組み

00

判断比率では『健全』

財政の健全性の維持・改善
「公債費負担適正化計画」を策定

平成20年度決算における大仙市の財政状況は、財政健全化法の基準に照らし合わせると『健全』といえます。

しかし、「実質公債費比率」が地方財政法の基準値18%を超えたため、市債を発行する場合は従来どおり県の許可、国の同意が必要になりました。

市債発行制度は、自治体の責任で自由に借り入れできるよう、県の許可、国の同意が必要な「許可制」から「協議制」に変わりましたが、今回再び「許可制」が適用されることになりました。

今後は、市債の適正な管理を計画的に行うため「公債費負担適正化計画」を策定。28年度までに、比率が18%未満になるよう取り組みます。

今年も全力投球「ズバツ」とど真ん中
－ 予算特別号 －



▶ 大仙市の財政を類似団体と比較分析しました。

将来負担の健全度

大仙市

※類似団体平均を100としたときの比率で表示

公債費負担の健全度

類似団体平均

の適正度

他自治体と比較可能な指標を用いて、各市町村で分析しています。

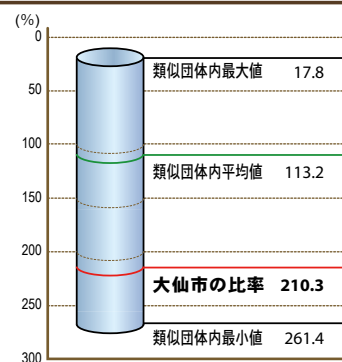
レーダーチャートの見方は、緑が類似団体の平均で、その内側ほど適性度や健全度が低く、外側ほど財政的に適性度が高いことを示しています。

※ 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35グループに分類したものです。

※ 大仙市が分類されたグループは、全国129の市が所属します。

将来負担の状況

類似団体内順位 120 位 (129団体中)

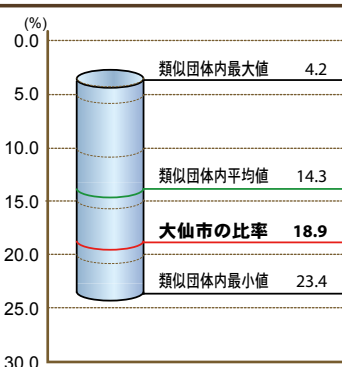


大仙市の将来負担比率

210.3%

公債費負担の状況

類似団体内順位 108 位 (129団体中)

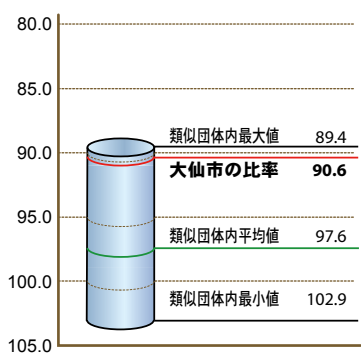


大仙市の実質公債費比率

18.9%

給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 3 位 (129団体中)



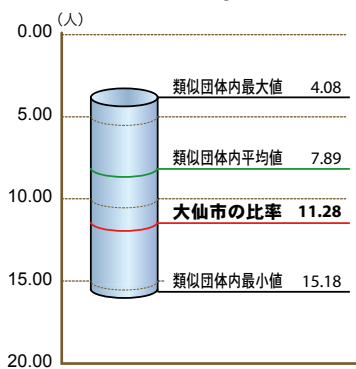
大仙市のラスパレス指数

90.6

※国家公務員の給与を100とした場合、大仙市の給与水準は90.6と低い値になっており、129の類似団体の中でも3番目に低い水準になっています。

定数管理の状況

類似団体内順位 119 位 (129団体中)



大仙市の人口1,000人当たり職員数

11.28人

【財政力指数】

財政力指数は年々微増傾向にありますが、依然類似団体の平均値を大きく下回っています。これは、もともと財政基盤が脆弱な市町村が合併したこと起因。合併後においても人口の減少や、長引く景気低迷による市税収入の伸び悩みなどにより指数の改善が図られていない状況にあるためです。

今後は基幹産業である農業施策の重点化を引き続き図るほか、現在進めている集中改革プランおよび行政改革大綱に基づいた歳出の見直し、市税等の徴収強化に努め、財政基盤の強化を図ります。

【経常収支比率】

前年度から1.6ポイント改善され93.9%となりました。

主な要因として、歳入においては普通交付税および地方特例交付金等の増。歳出においては給与削減および退職等による職員数の減少に伴う人件費の減、除雪経費および市債償還額の減が挙げられます。

比率は依然として類似団体平均を上回っているため、今後も一層の経常経費節減や自主財源の確保に努めます。また、公債費負担適正化計画に則り、市債発行額の抑制による公債費の縮減などで、比率の改善を図ります。



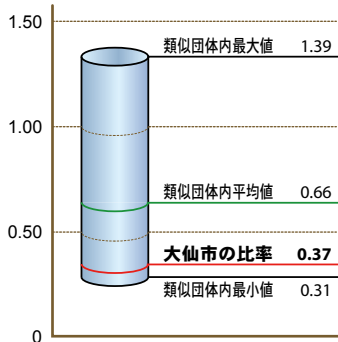
資料

大仙市データ

人口／	92,224 人
(平成 21 年 3 月 31 日現在)	
面積／	866.67 km ²
標準財政規模／	29,317,084 千円
歳入総額／	47,414,992 千円
歳出総額／	46,383,737 千円
実質収支／	826,215 千円

財政力

類似団体内順位 **124** 位 (129 団体内)

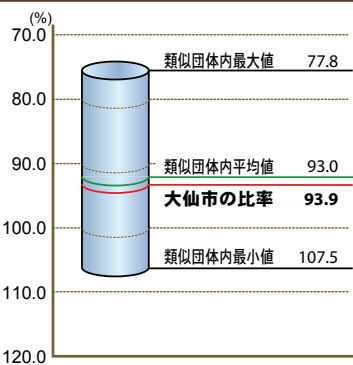


大仙市の
財政力指数

0.37

財政構造の弾力性

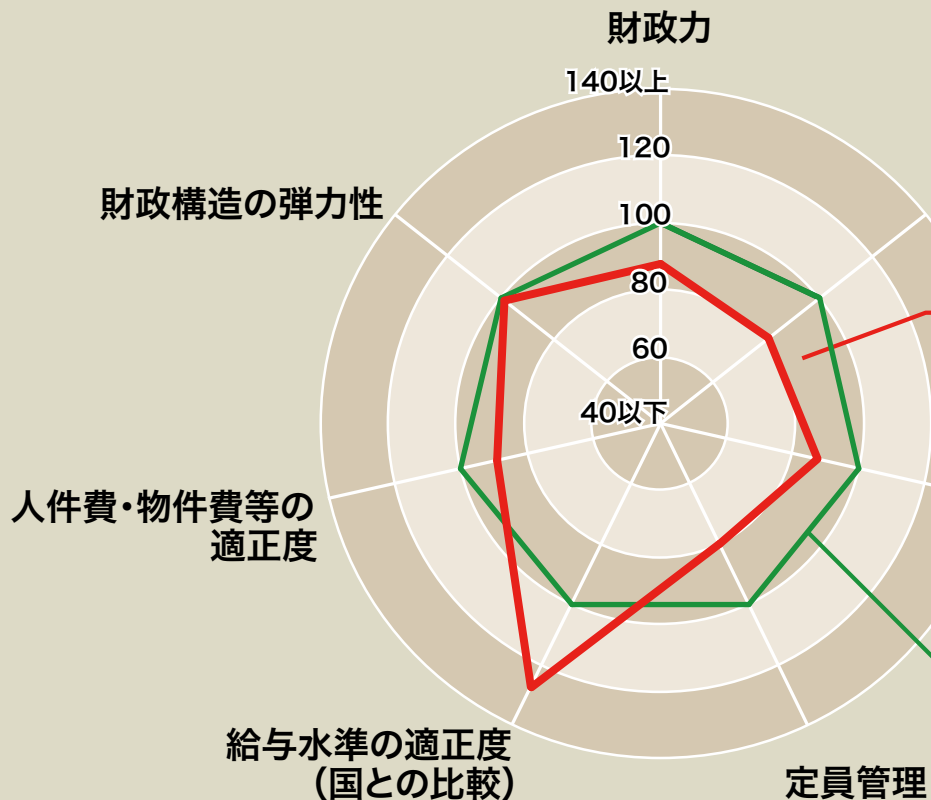
類似団体内順位 **73** 位 (129 団体内)



大仙市の
経常収支比率

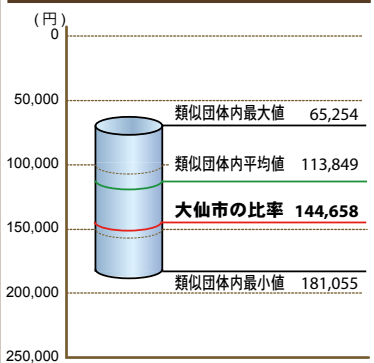
93.9%

市町村財政比較分析表



人件費・物件費の状況

類似団体内順位 **114** 位 (129 団体内)



大仙市の
人口1人当たり人件費
・物件費等決算額

144,658円

【実質公債費比率】
比率は前年度を1・0ポイント上回る18・9%となりましたが、単年度においては前年度を0・4ポイント下回る19・0ポイントとなっています。

比率が18%を超えたため、今後策定した公債費負担適正化計画に則り、今後の比率改善を図ります。計画の柱である市債発行額の抑制を踏まえ、臨時財政対策債等を除いた建設事業債については、計画期間全体において発行額を元金償還の8割以内とし、償還額の軽減を図ります。

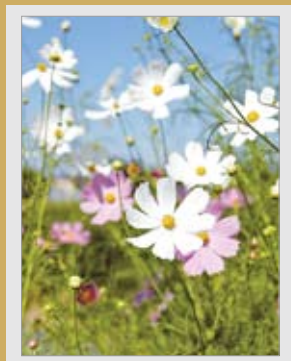
【将来負担の状況】
比率については前年度を7・1ポイント下回る210・3%ですが、類似団体平均113・2%を大きく上回り、将来負担の増大による財政の硬直化が懸念されます。これは、合併前後の各種事業実施に伴う市債発行額の増大や、職員数が依然として類似団体と比較して多いことが起因しています。

今後は国の地方財政対策による普通交付税等の動向に大きく左右されますが、市債残高や職員数の減少に伴い比率は年々減少傾向に推移すると予想されます。なお、今後の市債発行に当たっては可能な限り発行額の抑制に努め、交付税算入率の高い種別の地方債活用を図るなど比率改善に向けて取り組みます。

おおきなせなかに

夢を乗せ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

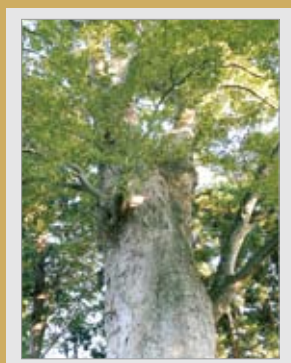
市の花鳥木



コスモス



カワセミ



ケヤキ



— 大仙市民憲章 —

わたくしたちのまち大仙市は、豊かな自然と広大な田園に囲まれ、先人のたゆまぬ努力によって栄えてきた歴史あるまちです。

わたくしたちは、この貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民一人ひとりが誇りと責任を持って、いきいきと暮らせる100年都市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 自分を高め 心を寄せ合い めくもりのあるまちをつくります
- ふるさとを愛し 緑の山河を守り 美しいまちをつくります
- きまりを大切に 力を合わせ みんなで働くまちをつくります
- 健康に努め 家族を思いやり 笑顔の輝くまちをつくります
- 歴史を見つめ 伝統に学び 文化の花咲くまちをつくります

平成22年3月22日制定

だいせん日和 — 予算特別号 2010 — 今年も全力投球「ズバッと」ど真ん中

平成22年5月1日発行

編集発行／大仙市役所企画部総合政策課

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号

☎0187-63-1111 (代表)